



KAKEHASHI プロジェクト（招へいプログラム）

（対象国：米国、テーマ：若手研究者第3陣）の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、アメリカ合衆国より若手研究者 20 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、平成 28 年 2 月 17 日から 2 月 23 日までの 6 泊 7 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

アメリカ合衆国 20 名

3. 訪問地

東京都、神奈川県、京都府

4. 日程

2 月 17 日（水）成田国際空港より入国

2 月 18 日（木）来日時オリエンテーション、外務省意見交換会

1. グループ A：【意見交換】日本経済新聞社
【訪問】日本エネルギー経済研究所
【歴史文化視察】江戸東京博物館
2. グループ B：【企業訪問】国際協力銀行
【訪問】日本国際問題研究所

2 月 19 日（金）

- 【最先端技術視察】J-POWER 電源開発株式会社 磯子火力発電所視察
1. グループ A：【訪問】一般財団法人日本再建イニシアティブ、笹川平和財団
 2. グループ B：【訪問】防衛省、厚生労働省

【交流】日経・CSIS バーチャルシンクタンクとの夕食交流会

2 月 20 日（土）東京都から京都府へ移動

【世界遺産・歴史文化視察】金閣寺、【伝統文化体験】春光院、【ワークショップ】

2 月 21 日（日）

【地場産業視察】月桂冠、【歴史文化視察】伏見稲荷大社、【自然環境視察】嵐山

2 月 22 日（月） 地方プログラム終了後、東京へ移動

【意見交換会】「アベノミクス及びジェンダー」

1. グループ A：【訪問】NPO 法人環境エネルギー政策研究所
2. グループ B：【訪問】経済産業省

A/B グループ合同で報告会（訪日成果・帰国後活動計画発表）

2月23日（火）

1. グループA：【意見交換】国会議員
2. グループB：【歴史文化視察】江戸東京博物館
成田国際空港より出国

5. KAKEHASHI Project（アメリカ）若手研究者第3陣 プログラム記録写真

	
2月18日 外務省意見交換会（東京都）	2月18日 日本エネルギー経済研究所訪問（東京都）
	
2月18日 国際協力銀行訪問（東京都）	2月19日 J-POWER 電源開発株式会社 磯子火力発電所視察（神奈川県横浜市）
	
2月19日 日本再建イニシアティブ訪問（東京都）	2月19日 日経・CSIS パーチャルシンクタンクとの夕食交流会（東京都）

	
2月20日 春光院 坐禅体験 (京都府京都市)	2月21日 月桂冠酒香房 (京都府京都市)
	
2月21日 伏見稲荷大社(京都府京都市)	2月22日 報告会 (東京都)

6. 参加者の感想

◆ 米国 若手研究者

KAKEHASHI プロジェクトは、今後各分野で活躍が見込まれる研究者に日本訪問を通して米国のパートナーとしての日本の重要性を考える機会を与えることにより、日米関係に大変肯定的なインパクトをもたらすものです。

◆ 米国 若手研究者

再生エネルギーとエネルギー政策が私の業務の中心ですが、今回の KAKEHASHI の旅は福島原発事故以降、日本がエネルギー部門の再構築において直面する諸問題と選択肢について理解を深める助けとなるものでした。同僚に日本が原子力および再生エネルギーにおいて目標とするところについてその概要を伝え、この重要なトピックにおいて米国が日本と協力できる方法について話し合う予定です。

◆ 米国 若手研究者

今回の訪問すべてが印象深いものでしたが、特に、出会った日本人ーレストランやホテルの従業員から省庁の職員、若い専門職の方まで、誰もが親切だったことに感動しました。私の投げかける質問に皆親切にまた的確に答えてくれました。

私の専門である健康管理政策に関しては、消費者に対する医療コストが低いことに驚き、日本も米国と同様の問題を抱えていることを理解しましたーそれは、どう質の高い医療ケアを整備するかということです。この問題を良い方向へ持っていくために、異文化間の研究の可能性があると信じています。

◆ 米国 若手研究者

日本の先進技術やビジネス・政策におけるイノベーションとともに日本の豊かな文化、歴史に強い感銘を受けました。京都で寺、神社を訪問し、この国には古くから複雑な政治と宗教の歴史があり、それが日本の美術、建築、社会、伝統に与えた影響について理解し、新しい見識を得たと言えます。また新幹線乗車、磯子火力発電所見学を通して、最近の日本の交通インフラの進歩、まさに進歩し続けているエネルギー効率、排出量削減への革新を知ることができました。米国へ戻ったら、日本文化、社会について学んだ新しい知識を友人、家族、同僚と分かち合いたいと思います。このような有意義な体験ができたことに感謝いたします。

◆ 米国 若手研究者

政策策定者や専門家に会い話をしましたが、彼らが自分の専門分野、管轄外の問題についても考え、日々の業務にそれらの問題（例えば、高齢化社会、エネルギー相互依存、安全保障問題）を統合すべく努力をしていることに感銘を受けました。また専門家たちが、世界中の人たちのために、彼らの知識を共有する努力をいとわないことにも感激しました。

7. 参加者の報告会での発表内容

KNOWLEDGE GAINED ON THE TRIP U.S. alliance as Japan's top foreign policy priority Japan's concern about growing Sino-U.S. ties; desire for primacy of U.S.-Japan relationship in East Asia "Lost decades" – efforts to reignite the economy; "womenomics" Immigration off the agenda; need for supportive family policies Controversy over nuclear power; continued & expanding reliance on fossil fuels Extremely welcoming; desire to share traditions; very safe ACTION PLAN <u>What:</u> Consider Japan's interests; opportunities for cooperation in our ongoing policy work <u>Why:</u> Shared commitment to liberal international order; deep shared energy and security challenges; shared democratic values <u>When:</u> Immediately and ongoing <u>Who:</u> Trip participants <u>To Whom:</u> CAP senior staff; Washington D.C. policy community (think tanks, academia, etc.)	IDEAS FOR CONTINUED EXCHANGE Written products exploring cooperative opportunities • Evaluate shared development & deployment opportunities for renewable energy • Convey best-practices for economic inclusion & supportive family policies • Analyze impact of Japanese security reforms; areas of opportunity on security, peacekeeping, & stabilization efforts Briefings and further education • Present lessons learned to CAP staff • Include Japanese embassy staff, experts in future events • Monitor developments in Japan and the region Arigato!
気付きとアクションプラン (A グループ) Demographics • Reality of aging population affects all areas of policy—and society • Role of women in the labor force similarly omnipresent • Homogeneity of the population, small presence of immigration Depth and breadth of Japan-U.S. alliance Long history of alliance cuts across many policy areas: defense, trade, cultural exchange Energy security Pursuit of diverse, stable, and secure energy supply imbues all areas of policy 	気付きと今後の交流 (A グループ) Action Plan: Networking Building on our interactions with CSIS-Nikkei Fellows, ministry and professional contacts, and CAP colleagues, we will continue to exchange expertise with young research professionals in Japan Action Plan: Tie-ins to current research As reflects the cross-cutting nature of the Japan-U.S. relationship, lessons learned through the Kakehashi Program are applicable to research across program areas at Brookings    
滞在中の気付き (B グループ)	アクションプラン (B グループ)

 Action Plan: Ambassadors Final thoughts Gratitude for this unique experience The Kakehashi Program is a testament to the strong cultural and policy ties between the United States and Japan We're happy to help further it!	
アクションプラン (B グループ)	